【公　演】

	No.	団体名	公演内容	人数	公演日			団体PR
					平日	土	日祝	
邦楽	1	大分県三曲協会	①箏・三絃・尺八による邦楽演奏 ②これらの楽器のワークショップ	7～10	○	○	○	昭和28年設立。大分県内の箏・尺八の職格者（師範）で構成。昭和34年から毎年定期演奏会を開催し県民芸術文化祭にも毎年参加。昭和50年大分県芸術祭、平成7年に大分県民芸術文化祭の開幕行事、平成2年及び22年に閉幕行事を担当した。近年は、学校での公演、ワークショップに精力的に取り組み、邦楽の継承、普及の方策を模索している。
	2	大分県民謡連盟	①大分県の民謡をはじめ、全国各地の民謡コンサート。 ②講演会、講習会 ＊公演時間、内容等希望に応じて企画可能。	6～10	○	○	○	県内で活動している民謡団体16団体で組織する団体。大分県民謡の研究、民謡の祭典の開催、大分県民謡大賞。国民文化祭への参加。県教育委員会の事業で県内の小中学校で公演を行ったりしている。
	3	大分県現代箏曲研究会	①お箏の演奏 ②洋楽器とのコラボレーションセッション ③和楽器に関する小講演+楽器演奏で講演・公演 ④箏演奏付き「古事記」「大分県民話」等の朗読（プロジェクターで画像があるのも有り）	2～10	○	○	○	1972年に「邦楽育成会」の卒業生を中心に、創立された。初代代表の菊池紅秀より引き継ぎ、現在は仙波歌月（生田流筑紫会大師範）が代表を務めている。この会の目的は「新しい現代音楽を創り奏でる」ことにあり、これまでの「シャン、テン、トン～」といったお箏の音色だけでなく、洋楽器や朗読、書道家などとのコラボレーションを積極的に行っている。
	4	大分県長唄連盟	日本の伝統芸能である歌舞伎音楽代表「長唄・三味線」。曲の解説、三味線に直接触れる体験コーナー、又、洋楽器とのコラボや、APU立命館アジア太平洋大学長唄・三味線サークルの国際生とのワークショップや演奏会も行う。	10～15	○	○	○	1960年（昭和35年）4月1日設立。現会長　杵屋六絹也（櫻井絹代）のもと会員一同にて大分県下のあらゆる会場において演奏活動を行う。近年は、大分県民芸術文化祭・文化キャラバン・国民文化祭・東アジア文化都市2022大分県・大分市芸能まわり舞台・合同新聞社等の主催する舞台出演に参加。又、各社中のみのお浚い会で日ごろの練習成果の発表会なども行っている。
	5	長唄松樹會	公演依頼のご要望に応じ、企画構成に変化をつける事ができる。古典の長唄（唄と三味線）の鑑賞をして頂くことは勿論、近代邦楽・童謡・ポップスなど幅広く演奏でき、また、洋楽器とのコラボも可能。小学生以上の方には、コロナ禍でも、例えば『三番叟（さんばそう）』などのリズム打ちをしたり、邦楽に親しみながら体験学習や鑑賞会が出来る。	2～20	○	○	○	1946年（昭和21年）4月、公に発足。戦前より現会主の芳村孝次女（松永派理事）に至るまで三代に渡り、大分県と九州の長唄（唄と三味線）の普及に務める。現会主は大分と東京を拠点に、文部科学省・文化庁認定「伝統長唄保存会」などの演奏会に出演協力、また「東京都キッズ伝統芸能体験」の主任講師も務めた経験や長年に渡る舞台経験を生かし、長唄松樹會として、小・中・支援学校、高齢者施設の「文化キャラバン」、「大分県民芸術文化祭開幕行事」、「国民文化祭・おおいた2018」等に参加。「ラグビーWカップ2019大分ステージイベント」、「人工生命とロボット国際学会（別府）」、「企業開業100周年記念祝賀会」で長唄を演奏し、昨年は『東アジア文化都市2022大分県』、『大分県民芸術文化祭』に参加し公演を行う。
オペラ・声楽	6	大分二期会	教科書の鑑賞題材によるオペラ（「魔笛」他）のアリアや重唱をピアノ伴奏で演奏するコンサート。教科書の「日本のうた」「季節のうた」「自然のうた」などを取り入れ、児童・生徒にも親しみやすい鑑賞会。学校で取り組んでいる合唱曲を混声重唱により模範演奏し、交流演奏も行う。	4～5	○	○	○	大分二期会は、全国組織のオペラ団体二期会の中で九州地区初めて2010年に誕生。自主公演「魔笛」・喜歌劇「こうもり」や文化庁委託事業「ヘンゼルとグレーテル」・「フィガロの結婚」、2018年は第33回国民文化祭・おおいた2018「オペラの祭典」、2021年は第23回大分県民文化祭開幕行事で「カルメン」を開催。創立以来ガラコンサートを開催している。現在会員数78名
	7	アンサンブル「みどりのそよ風」	多くの人（特に若い世代の人にも）に、童謡に親しんでもらうための童謡コンサート。季節の歌、わらべうた、懐かしい童謡、新しい童謡など。を聴いてもらったり、一緒に歌ってもらうことも可能。	3～6	○	○	○	1997年、4名でスタート。県内各地の病院、施設、公民館またはイベントで童謡コンサートを実施している。歌唱（ソロ・重唱）、ピアノ（ソロ・連弾）、フルートとピアノのアンサンブル
	8	おおいたオペラカンパニー	オペラ（ハイライトも含む）公演やオペラコンサート（アリア・重唱等）	10	○	○	○	2009年の春設立。これまで　毎年の定期公演、数多くの地方公演（学校での公演を含む）を実施している。童謡・唱歌の演奏も行う。

	No.	団体名	公演内容	人数	公演日			団体PR
					平日	土	日祝	
合唱	9	NPO法人 おおいた第九を歌う会	1　合唱を中心とする音楽の普及振興事業: ベートーヴェン交響曲第九番を中心とした合唱講習会の開催 2　子ども達の音楽に関する育み事業: 小学校及び中学校等訪問演奏会の開催	8～20	要相談	○	○	1977年から「大分第九の夕べ」を開催している「大分第九を歌う会」が、2017年4月に「NPO法人おおいた第九を歌う会」として生まれ変わった。 年末恒例の演奏会に加え、「第九」の魅力を伝えるレクチャー、合唱講習会及び訪問奏会等を行う。
	10	大分市民合唱団 ウイステリア・コール	合唱の演奏	15	×	○	○	1950年に結成された混声合唱団。10代の中高生から60代の一般社会人までさまざまな年齢・職業の団員が集い、定期演奏会の開催、コンクールへの出場、学校や福祉施設への訪問演奏など幅広く活動している。
	11	合唱団”藍”	学校巡回公演や音楽演奏会（コーラス・ピアノ・ボディーパーカッション）を行う。	18	○	×	×	平成元年3月に女声コーラスグループとして発足。”藍”コンサート活動を中心に、お母さんコーラスフェスティバル、合唱祭に毎年参加。音楽療法ボランティアとしても活動中。
	12	大分大学混声合唱団 コールレティッヒ	合唱・オペレッタ（寸劇）。子どもと一緒に体を動かしたり、歌ったりしながらの演奏会。	10	×	○	○	昭和35年結成。現在会員は約10名。年1回の定期演奏会を開催するほか、長年地方演奏旅行として、県内の小学校等で公演を行ってきた。
	13	男声合唱団 豊声会	男声合唱の演奏。日本や外国の叙情曲や民謡・四季の唱歌・男声合唱の名曲・大分県にちなんだ曲など	約30	○	○	○	1969年（昭和44年）に発足して以来50年以上歌い続けている男声合唱団です。 「心休まる音楽づくりを目指そう」「男のハーモニーを奏でよう」「文化の発信源になろう」を合言葉に、2年に1度の定期演奏会をメインに大分県合唱祭、九州シニアコーラスフェスティバルへの参加等様々な活動を行っており、県民文化の振興に寄与したとして2013年に大分県知事表彰を受賞しました。こうした実績から2018年には国民文化祭のファイナルステージに出演しました。 　年齢や経歴を超えて、現在約30名の団員が毎週の練習を楽しんでいます。
器楽演奏等	14	大分マンドリンオーケストラ	クラシックやポピュラーなどマンドリンのために編曲された作品の中から、子ども達もどこかで聴いたことのあるような曲を演奏します。楽器の紹介や曲の解説もはさみ、楽しくマンドリン音楽を聴いていただきます。曲目によっては子ども達のたて笛等の楽器と楽しく合奏したり、指揮者体験もできます。	20～25	○	○	○	第1マンドリン、第2マンドリン、マンドラ、マンドロンチェロ、クラシックギター、コントラバスによる弦楽6部構成のマンドリンオーケストラ。 昭和28年に創立し、現在社会人を中心としたメンバー約30名により活動しており、毎週水曜日19時30分から大分市南部公民館を主に練習している。主な活動としては、「OMOギターマンドリンフェスタ」「九州マンドリンフェスティバル」「大分県マンドリンフェスティバル」「文化キャラバン」「定期演奏会」等。
	15	室内楽おおいた～grand～	①弦楽合奏（トリオ、カルテット、小編成の合奏） ②ソロ（独奏）による演奏。	3～5	○	○	○	団員全員が音楽を専門として勉強してきたこともあり、演奏には自信がある。クラシックから映画音楽、校歌からアニメまで幅広いジャンルを演奏だけでなく解説も折込み、子どもたちに音楽の楽しみ方を伝えることを第一に考えた演奏会を信条としている。。
	16	カサ・デ・ギターラ	クラシックギターの独奏と合奏。生徒たちとの（歌、リコーダーなど）合唱、合奏。ギターについての質問コーナーなど。＊公演日の希望は、第1希望火曜日、第2希望木曜日。	4～5	○	要相談	要相談	昭和55年設立。大分市を中心に62名で組織。堀内輝生ギターリサイタル、大分市民音楽会への参加のほか、学校公民館など大分県内を中心に活発に活動している。＊特に山村、離島などの小規模校での演奏を希望する。
	17	ピアノ演奏グループ「O’未来」	ピアノのソロ演奏、連弾演奏によるコンサート。簡単なコメントをはさみながら、子どもたちにも聴きやすいクラシックの名曲（3～4分程度）をはじめ、アニメソングやその年に流行した曲なども取り入れたプログラム。全校生徒で行うクイズコーナーやリズム遊びコーナーもあり、音楽を幅広く楽しんでもらう。	5～9	○	○	○	北九州小倉に本部を置き、会長である平岩祥子氏の門下生を会員とした団体。本部は1976年発足、大分県支部は1986年の第1回定期演奏会と同時に始動。これまで33回の定期演奏会を続けている。その他、子どもたちを交えてのピアノコンツェルトコンサート、サロン風のミニコンサートである「おしゃれコンサート」等、演奏活動を行っている。

	No.	団体名	公演内容	人数	公演日			団体PR
					平日	土	日祝	
器楽演奏等	18	白と黒	ピアノ独奏、連弾、ピアノと管弦楽器のアンサンブル（ヴァイオリン、フルート、クラリネット、トロンボーン等）	3～5	○	○	○	芸振会員として、27年間クラシックピアノコンサートを開催。会員は、音楽大学卒業後も研究を重ね、ピアニストや高校・大学教員として県内外で活躍、賛助会員として管弦楽器奏者の協力で、ピアノ独奏だけでなくピアノトリオ等の室内楽も演奏している。
	19	グループUNO	クラシック音楽や身近な音楽の演奏。声楽の独唱、重唱、楽器（ﾋﾟｱﾉ・ﾌﾙｰﾄ・ｻｸｿﾌｫﾝ）による独奏、アンサンブルによる演奏会。	10～15	○	○	○	創立50年を迎えるクラシック演奏団体。会員が研鑽を積み、毎年欠かさず定期演奏会を開催している。また、県下の学校の巡回演奏や、施設などでのボランティアコンサートで、地域に根ざした活動をしている。
	20	Oita Musik Akademie	演奏形態は、声楽とピアノ、器楽のみ、声楽と器楽、と多様。地域の人々に馴染みのある曲でコミュニケーションを図る時間を設ける一方、演奏家の専門であるクラシック音楽にもしっかり触れる演奏会を開催。	5～6	要相談	○	○	大分に所縁のあるクラシック音楽の若い演奏家同士の親睦とクラシック音楽の普及発展への寄与、地域の音楽文化の発展向上への貢献を目的とする。あらゆる演奏形態に適応できるよう声楽から器楽まで多様な演奏家が所属している。
	21	ルミエール フルート アンサンブル	様々な編成によるフルートアンサンブルのコンサート。フルートだけでなく、ピッコロ、アルトフルート、バスフルートなどフルート属の楽器の紹介もする。	4～10	○	○	○	県下で活動しているフルーティストを中心に2008年に結成。小編成の曲から特殊楽器を使った規模の大きなアンサンブルの曲まで幅広いレパートリーのフルートアンサンブルに取り組む。
	22	洗足学園音楽大学同窓会 大分県支部	クラシック音楽やポピュラー音楽等、親しみのある曲を演奏。ピアノ・フルート・クラリネット・ヴァイオリン・声楽等のソロやアンサンブル	4～10	○	○	○	音楽大学にて専門の勉強をし、現在は県内外で演奏活動を行っている。
	23	管楽器プレイヤーズ大分	フルート・オーボエ・クラリネット・トロンボーンの管楽器で構成されており、自在な組合わせでアンサンブルの演奏を提供する。	2～7	○	○	○	2013年4月、吹奏楽やオーケストラにおける管楽器奏者の普及、演奏技術の向上、音楽文化の振興に貢献することを目的として設立された団体。
	24	大分クラリネットアンサンブル	・クラリネットアンサンブル（4重奏、もしくは5重奏）の演奏 ・楽器紹介 ・楽器体験	4～5	○	○	○	大分県内でクラリネットを愛好する者で構成.今までに10回を数える定期演奏会を開催しており、レパートリーは多数あり。 学校でのコンサートでは、4重奏、5重奏を中心としたプログラムを準備している。 後進の指導にも力を入れており、子どもたちに興味のあるプログラムや楽器紹介、楽器体験を通じてクラリネットの魅力を伝えられたらと思っている。
	25	情景ヲ奏デル	教科書で長年親しまれている物語【ごんぎつね】(新美南吉：作)【スイミー】(レオ・レオニ：作)などのお話を、この題材に作曲されたピアノ組曲と共に、イラストをプロジェクターで投影しながら朗読する(上演時間20分) 他、ピアノやバイオリン、フルートなど様々な楽器を使ったアンサンブル、また日本や世界の歌曲をイラストと共に情景を想像しやすい演出で行う。	3	○	○	○	代表の赤嶺は由布市に於いて20年以上にわたりスクールコンサートを行いその活動は今年通算200回に達し、二度の大分県教育奨励賞を受賞している(平成27年、令和4年) 貴重な経験を県内の子ども達にも届け、大分県が自然だけでなく、豊かな心を持った子ども達を育むきっかけとなれたら幸いです。 どうぞ宜しくお願い申し上げます。
吹奏楽	26	大分県庁職員吹奏楽団	クラシックや吹奏楽オリジナル曲を紹介すると共に、歌や打楽器演奏で児童・生徒が参加できる演奏会を企画している。また、楽器に触れ、演奏にチャレンジしてもらうなど聴くだけでなく、楽器に親しむ演奏会を開催している。 近年では、お話し（読み聞かせ）と音楽、イラストを組合せた「音楽物語」などを企画し、各地で好評価をいただいている。	15～35	要相談	○	○	昭和24年大分県庁職員有志により結成。年1回定期演奏会、学校訪問演奏会、老人・児童福祉施設・病院での慰問演奏会の他、各種、イベント等で活動。小編成での演奏も可能　施設の規模に合わせて柔軟に対応いたします。【楽団ブログ】http://blog.livedoor.jp/oita_pref_wind/
	27	吹奏楽団アンサンブルOITA	日本、外国の親しみのある曲を演奏。楽器紹介（楽器の仕組みをわかりやすく紹介）、指揮の体験など（音楽の中でリズムを感じてもらう）をプログラムに組み込む。	15～30	×	○	○	平成9年に設立された大分市の市民吹奏楽団。大分県内で吹奏楽の音楽愛好家が集まり、広く市民に愛される楽団として「心に残る音楽を創り続けよう」を合言葉に活動している。

	No.	団体名	公演内容	人数	公演日			団体PR
					平日	土	日祝	
ジャズ	28	スウィングエコーズ・ジャズオーケストラ	アメリカから始まったジャズの歴史の中で、最も迫力のあるオーケストラ形式の演奏スタイル。希望によって、ジャズのスタンダードナンバーから映画音楽やディズニーの音楽、演歌などを演奏。(レパートリーは約500曲)。公演の中では、楽器紹介や、ｶﾗｵｹ演奏、地元ダンス教室とのコラボレーションなど、魅力あるステージに努めている。	17	×	○	○	昭和42年に大分市、別府市のジャズ愛好家によって結成されたジャズオーケストラ。毎年1回、国内のトップアーチストをゲストに迎えて定期演奏会をしており、これまで、サックスの渡辺貞夫氏やマルタ氏、ジャズボーカルのマリーン等と共演、2度の大分県民芸術文化祭賞を受賞している。2008年の大分国体では穐吉敏子さんと共演した。
舞踊	29	大分県日本舞踊連盟	日本の古典芸能である日本舞踊に触れる。鑑賞、おはなし、ワークショップなど。	15～20	○	○	○	県内の日本舞踊の師範で構成。連盟として、県、市の教育委員会の事業に協力。子供達をはじめ、幅広い年代の方に日本の伝統文化を伝える活動に力を入れている。
	30	おおいた洋舞連盟	クラシックバレエ、モダンダンス、ジャズダンスなど、洋舞踊の作品鑑賞やおはなし、ワークショップ。	5～10	×	○	○	県内の洋舞踊の指導者が構成する団体。平成18年の大分県民芸術文化祭開幕行事では、ボリショイバレエ団のソリストを迎え、「ラ・バヤデール」全幕公演。平成23年大分県民芸術文化祭開幕行事では、大分ロシア友好交流バレエ公演「くるみ割り人形」全幕公演。令和2年首藤康之演出・振付によるバレエ「眠れる森の美女」全幕を公演し、好評を得ている。
	31	大分民踊民舞連盟	・民踊とは～解説・民踊を踊ってみせる・民踊を一緒に踊る	15～20	○	×	×	県下の民踊団体40団体で構成。県、市の教育委員会等の事業への協力し、民踊を子どもたちにも親しみやすく紹介。
演劇	32	大分県人形劇サークル協議会	1公演あたり人形劇2～3本を45分～60分前後程度の時間で上演する。童話・民話・昔話などを「人形」を使って子ども達と一体となった劇を上演する。 ※鑑賞者数について、200名以上の場合は、後方が見えにくい可能性があるので、せいぜい250名が限度である。	2～8	○	○	○	県内で58年の活動を続ける人形劇サークルの団体。子どもたちの目前で人形が生出演する劇はいつも大変好評を受けている。舞台など必要なものはほとんど持ち込むが、観客人数が100人を超す場合は、会場のマイク等をお借りする場合がある。
	33	大分県児童文化研究会	民話・昔話・新旧童話等、子ども達に語り聴かせたい文化内容を語り(口演童話)・紙芝居・本(絵本)の読み聴かせ・パネルシアター・人形劇等多彩な表現方法を持つベテランの講師を招請して子ども達の前で上演する。	2～6	○	○	○	県内で学校等を対象にした読み聴かせサークルや、童話祭で披露してきたベテランの講師に声かけし、子ども達に広げる活動をする団体。
能	34	大分県能楽連盟	能楽とは「全ての人間の本性を描く芸術」神、男、女、狂、鬼を700年演じ続けられ、世阿弥の芸術論「花伝書」は世界的に評価され、私達の生きていく指針を教えている。花の成長にたとえ、生徒は大変興味を持っている。実演鑑賞、複式発声、体幹スリ足、クモの巣の妙技、能装束着付、日本史のヒーローたちの能面を身につけ驚異に満ちている	8	○	○	○	世界文化遺産第1に選ばれ、日本が誇る舞台仮面劇である。その活動は県文化功労賞、文化庁無形文化財認定、旭日双光章の叙勲と70年間懸命に務めた。大分県には日本三大能楽堂といわれる舞台は宝であり、活動は各カルチャー教室、小中高、芸短大(講師)、一般と広くに啓蒙、毎年人間国宝、東京の一流演者を招き、レベルの高い舞台を60年間活動、紹介している。子供教室は20年間、小中高毎年40人育成し、第1期生は医学や指導者になって頼もしい。

【講演会・講習会等】

	No.	団体名	公演内容	人数	公演日			団体PR
					平日	土	日祝	
文芸	35	大分県番傘川柳連合会	川柳の作り方、味わい方などに関する講演会	2～3	○	○	○	「番傘川柳本社」同人、約30名が講師を務めることができる。
生活文化	36	華道家元池坊大分支部	・伝統文化である「いけばな」の歴史や文化についての講演・デモンストレーション。 ・体験教室（材料費として1人500円を頂く。）	2～5	○	○	○	70名の教授者。華道家元池坊の華道会所属。支部創立以来（95年間）花展開催や、家庭でのもてなしの花を広めている。時代に添った生活空間に花を置き、癒される優しい空間づくりをめざしている。
美術	37	NPO法人大分県書写書道指導者連合会	児童生徒を対象に、書写の基礎・基本を指導するとともに、作品制作の支援を行う。	3～5	○	×	×	書写書道教育の向上発展に寄与することが目的 全国小中学生書道チャンピオン大会開催 夏休み子どもたちのための毛筆書写講習会を実施（県内6会場） 平成28年度文部科学大臣表彰（地域文化功労者）

【展示】

	No.	団体名	公演内容	人数	公演日			団体PR
					平日	土	日祝	
美術	38	大分県美術協会	大分県美術展及び巡回展において作品鑑賞会（作品解説）を開催している。 （会期中の展示会場以外の場所での展示作品を活用した鑑賞活動・解説はできないのでご理解願いたい。また、鑑賞に際しては少人数のグループに分けるなどの対応が必要になることがあります。）	希望者	○	○	○	昭和40年、芸術関係3協会が統合し現在の大分県美術協会が発足した。発足当初から県美展を開催し本年で第59回を迎える。この会は大分県美術界向上のために、互いに協調し、その実をあげ県民文化の発展に寄与することを目的としている。県美展会期中に希望者を対象とした作品鑑賞会（作品解説）や研究会を行ったり、県美展終了後に県内各地で巡回展を開催したりしている。県美展巡回展終了後、大分県立病院ギャラリーで「もっと美術を！県美展秀作展」(日本画・洋画)と「心に響く書展」(書道)を開催している。

【その他】

	No.	団体名	公演内容	人数	公演日			団体PR
					平日	土	日祝	
総合	39	NPO法人中津文化協会	約60団体からなる組織。日舞、洋舞、邦楽、洋楽関係の舞台公演、講師の派遣、各種団体の作品展。人数、時間等については会場の希望に応じる。		○	○	○	1980年に地域の文化活動団体で結成以来、地方の文化振興と向上に寄与する。現在約53団体の加盟で中津文化会館内で運営。毎年春、秋に中津市民芸術文化祭を開催し、舞台公演、作品展を行う。平成20年9月からは、NPO法人中津文化協会となり、中津文化会館及びリル・ドリームを指定管理者として運営している。
	40	OMAP	アーティストが制作した音楽絵本をもとに、幼～中学生対象のワークショップ（日本語・英語ナレーション、リトミック、リズム、楽器、美術)およびライブイベント（演奏、弾き語り、ライブペイント）など目的に応じ開催可能。		○	○	○	芸術科学分野のアーティスト・専門家と子供の出会いと学びの場を提供し、文化振興を目的に活動。子ども対象のコンサートやワークショップを行なっている。 詳細は、ホームページをご覧下さい。(www.omap.spaceまたはOMAP大分で検索)